

ウクライナに平和を

ロシアは侵略戦争を止め直ちに撤退を

ロシアのウクライナ侵略から一カ月が過ぎました。ウクライナ国土は破壊され、人口の四分の一となる1000万人以上が避難を余儀なくされ、子どもを含む民間人5000人以上死亡しています。

ロシアの侵略は主権侵害、領土の一体性を損なう重大な国際法違反であり、この戦争を許してはなりません。私たちは、「ウクライナに平和を」「ロシアは撤退を」の声を大きくし、ロシアを孤立させる必要があります。

この戦争でプーチンが核兵器の使用を検討していることから、日本も核兵器をもつ必要があるという人がいます。しかし、これは非核三原則の国是に反するもので容認できません。また、これに乗じて憲法9条を改悪する動きがあり、改悪を許してはなりません。

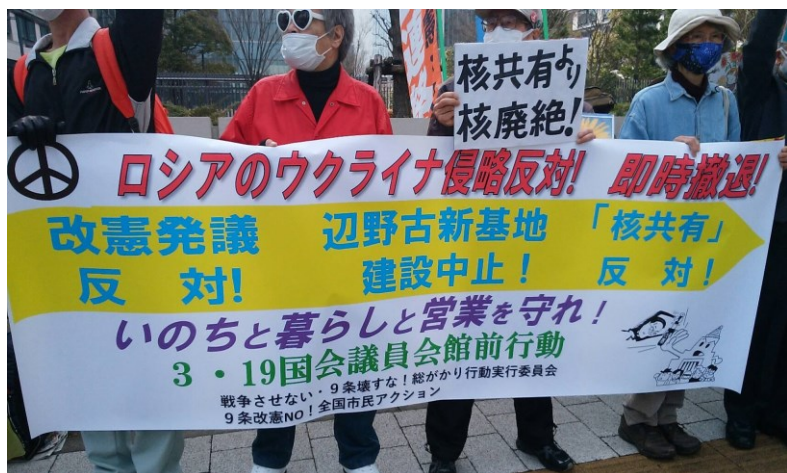
独裁政治が

もたらした戦争

この戦争はプーチンの独裁政治が起きました。ロシア国内

では言論統制が行われ、戦争反対の集会やデモが禁止され投獄されています。言論の自由がなく、まさに恐怖政治です。

独裁政治を許せばこのようなことが行われることは戦前の日本もそうでした。このようなことを起こさせないためにも平和と民主主義を守り、言論、出版、集会の自由、悪政にノーと言え社会を持続させていく必要があります。



ストライキに

参加した仲間の声

○賃金が安いので月々の生活はカスカスです。職場と家の往復で出かけることもできません。出かければお金がかかるし、お金がかからないような生活をしていきます。そうした生活をしているのに家賃や生活用品は上がっているのに給料だけ下がっている。このままでは生活は守れない。何とかしていかなければと思っていました。今回、ストライキで変えていく力になればと思って参加しました。

○ストライキのことは以前から知っていましたが、過激なイメージをもっていました。ストライキは合法であることも知りませんでした。今回やってみて組合員として、(諸要求を実現させていくために)こんな行動をしていくことが大事だと思いました。